

さんだ里山スマートシティ

～市民一人ひとりが幸せを実感しながら住み続けられるまち三田～

令和5年8月2日

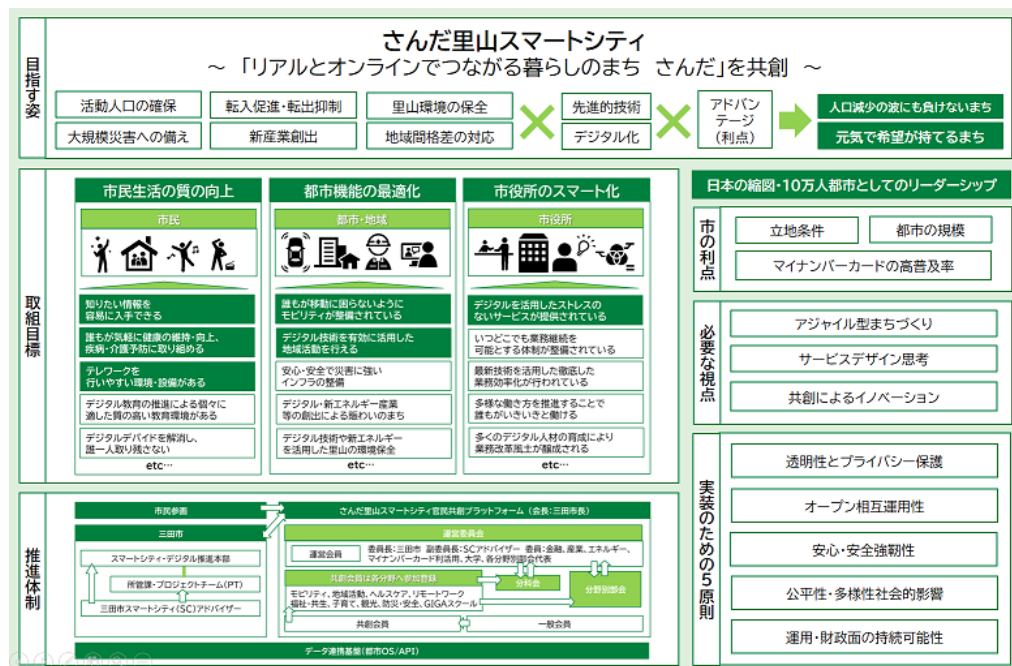
第1回ひょうごスマートシティ推進検討会



- 令和2年10月 スマートシティに取り組む旨を公表
 - コロナ禍及びポストコロナ時代を見据え、本市へ新しいひとの流れを作り出す。
 - デジタル活用による産業・就労機会の創出、暮らしやすい環境の整備、人・企業を惹きつけるような魅力的なまち・三田を創り出す。

基本的な考え方を整理

- 令和3年3月 基本的な方向性を公表
 - 令和3年3月30日にさんだ里山スマートシティ基本構想（素案）を公表（=基本的な方向性）
 - 三田の様々な課題について、三田の特徴をふまえ、デジタル活用により「さんだ里山スマートシティ」の実現を目指す旨の考え方を整理



官民共創・市民参画
で構想策定へ

～令和3年3月30日基本構想（素案）の公表～

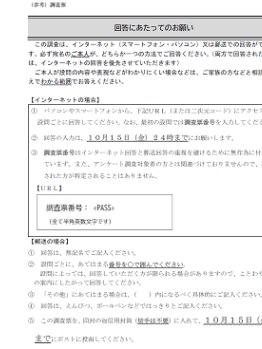
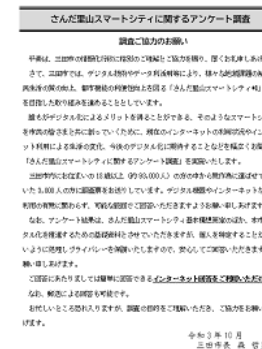
- さんだ里山スマートシティ官民共創プラットフォーム
 - 令和3年3月30日より設置
 - 市内外の企業や団体に対して会員募集
 - 運営委員会や会員の意見交換会などで様々な意見を募集**



- 令和3年11月 市内在住・在勤・在学者対象のワークショップ
 - 令和3年11月20日21日に、15歳以上の市内在住・在勤・在学者を対象にさんだ里山スマートシティワークショップを実施
 - 現地参加者（42名）だけではなく**ワークショップの様子をYouTubeでライブ配信（12名）**し、計54名が参加
 - 講師としてスマートシティアドバイザーやプラットフォーム会員から計4名が登壇



- 令和3年10月 スマートシティアンケートの実施
 - 18歳以上の市民3,000人を対象に「さんだ里山スマートシティに関するアンケート調査」を実施
 - 有効配布数2,993件(不到着7件)/回答数1,585件/回答率53.0%



- 令和3年4月～令和4年1月 インターネットを活用したアイデア募集
 - より多くの市民の皆様からアイデア・課題等を募集するために、**オンラインフォームを活用してアイデア募集**
 - のべ21人からアイデアの回答

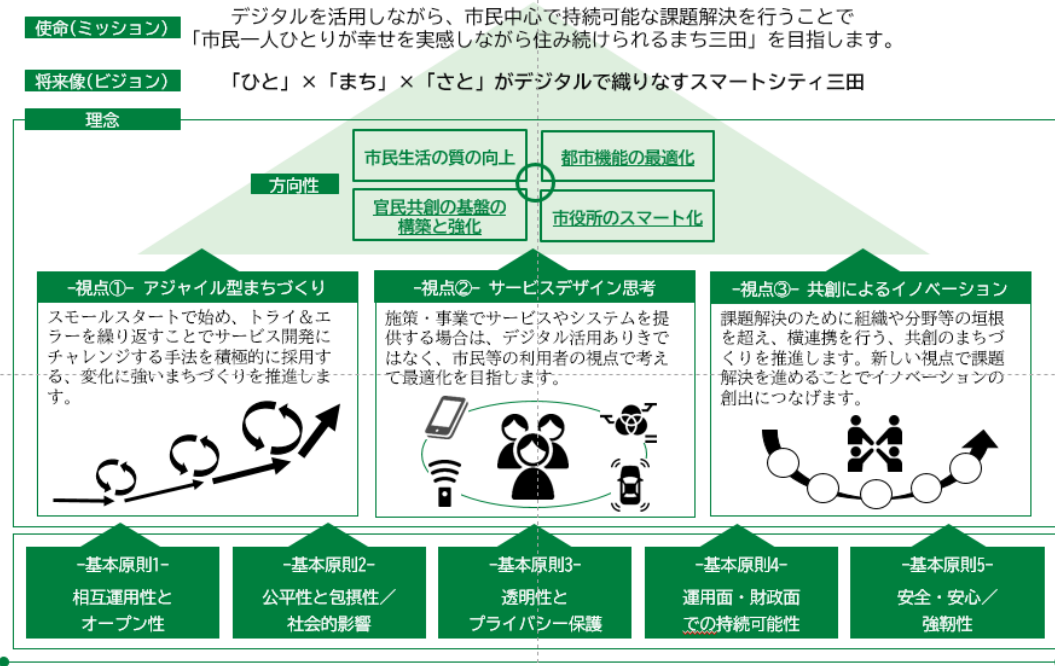


- 様々な三田の課題について、ICT・IoT・AIなどのデジタル技術の戦略的な活用とデータ利活用により「**市民中心で持続可能な課題解決を行うスマートシティ**」に取り組むことで、「**市民一人ひとりが幸せを実感しながら住み続けられるまち三田**」を目指すために「さんだ里山スマートシティ構想」を策定

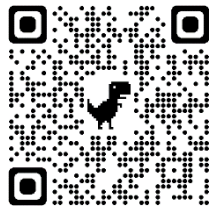
さんだ里山スマートシティの将来像

13

Sanda Satoyama Smartcity



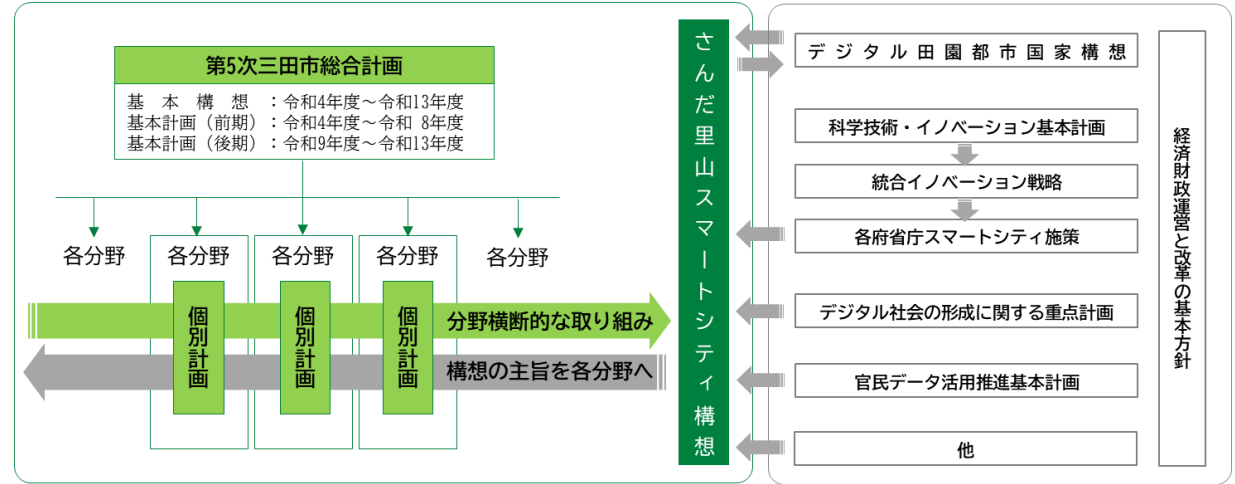
～さんだ里山スマートシティ構想の概要～



https://www.city.sanda.lg.jp/shisei_joho/1/19986.html

Access →

- 本市の最上位計画である総合計画に基づく個別計画や各施策の取組み等に対して、デジタル活用の視点を取り入れ、分野を超えた横断的な取組みを推進する指針として位置付け



～構想の位置づけイメージ図～

✓ 各課が所管する各計画にスマートシティ・デジタルの要素を取り入れる

✓ 分野横断による取組みを推進（= 庁内横断的な取組み、横の連携）

- 取り組みの方向性として「市民生活の質の向上」「都市機能の最適化」「官民共創の基盤の構築と強化」「市役所のスマート化」の4本柱を定めた。

市民生活の質の向上

デジタルで豊かな暮らし
デジタルで支え合う



都市機能の最適化

デジタルを使って
持続可能なまちに



官民共創の基盤の構築と強化

人・データの連携を推進
共通的な仕組みの採用



市役所のスマート化

市役所のサービスや業務
をデジタルで変える



- 市民一人ひとりが豊かに暮らす（デジタルで豊かな暮らし、デジタルで支え合う）
 - 誰もが楽しみながらいつまでも健康に暮らす
 - 高齢者や障害者等が安心して暮らせるように支える
 - 子どもが元気に育ち・夢を持ちながら学び成長する
 - 地域で活動する人を支える



・ 事業の概要

- ・ **ICTクラウドサービス**を市の就学前施設や放課後児童クラブなどに積極的に導入（＝**横展開**）
- ・ 子どもの保護者の利便性向上 → **スマートシティの取り組みによる利便性の実感を目指す**
- ・ 職員の負担軽減を狙う
- ・ 今後もICTクラウドサービスの順次展開を目指す

① 放課後児童クラブにおけるICTクラウドサービスの導入（令和4年度）

- ・ 放課後児童クラブにICTクラウドサービスを導入（入退室管理、出欠連絡など）

② 病児保育室「ふらっと・クローバー」におけるICTクラウドサービスの導入（令和4年度）

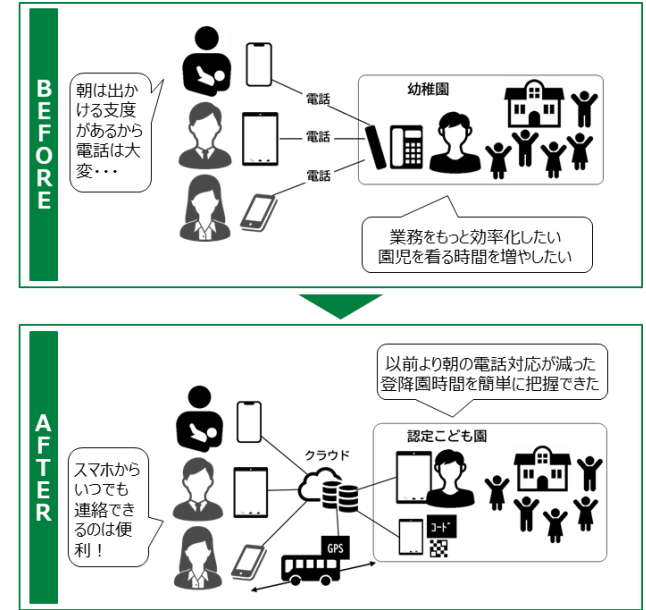
- ・ 病児保育ネット予約サービス「あずかるこちゃん」を導入
- ・ クラウドサービス上で利用予約が可能に

③ 市立三田保育所のICTクラウドサービス導入（令和5年度）

- ・ 市立三田保育所の**施設改修**に合わせてICTクラウドサービスを導入（登降園管理、出欠連絡など）
- ・ 国R4二次補正デジ田交付金（デジタル実装タイプType1活用）

④ (仮称)三田西認定こども園保育ICTクラウドサービス（令和5年度）

- ・ 市立幼稚園の**統廃合**により認定こども園が開園予定（令和6年4月利用開始）
- ・ ICTクラウドサービスを導入（登降園管理、出欠連絡、通園バスの可視化など）
- ・ 国R4二次補正デジ田交付金（デジタル実装タイプType1活用）



ICTクラウドサービス実装イメージ

- デジタルの力で持続可能な三田を目指す（デジタルを使って持続可能なまちに）
 - 誰もが移動に困らないように整備されたまち
 - 三田の魅力である自然・里山・農村を守り活用するまち
 - 生活の安全安心・非常時へ備えるまち
 - 多様な働き方・産業・観光/文化による賑わいのあるまち



グリーンスローモビリティを活用した地域交通共創モデルの実証実験

- グリーンスローモビリティ（低速で走る電気自動車を活用した乗合型移動サービス）などの新モビリティに触れる機会を設定
- 新たな移動サービスに関する地域ニーズ調査を実施
- 車両の運転手は地域に暮らす住民が担った**
- 連携企業・団体（R4：北摂コミュニティ開発センター、神姫バス、神戸電鉄、関西電力、丸紅、日本工営、社会福祉協議会、アシックス、モピ、狭間が丘地域事業推進協議会、武庫小校区まちづくり連絡協議会）

狭間が丘にお住まいの皆様へ

**“グリスロ”をつかったハサマ悠々サービス
実証実験がはじまります！！**

事前登録制

『グリーンスローモビリティ(グリスロ)』は、時速20km未満で走る電気自動車です。環境にやさしく、お近くの移動に最適な交通手段として注目されています。狭間が丘地区では11月からセンター地区までのおでかけにご利用いただけるよう社会実験を行います。のんびりと友人とおしゃべりを楽しみながら、皆様のお出かけがフラワータウンセンター地区までお出かけしましょう。

運行期間 令和4年度 **11月10日 Thu - 12月23日 Fri**

狭間が丘から **フラワータウン** 駅周辺まで

わくわく1 おでかけのほどお楽しみいただけます

わくわく2 三田駅～ワッピタウンまでおでかけポイント

わくわく3 フレイル予防講座
ヘルスケア

第1回 10月24日(月)10:00～11:00(申込済) 10月20日
第2回 11月16日(水)10:30～11:30(申込済) 11月10日
第3回 12月12日(月)14:30～15:30(申込済) 12月6日

会場 フラワータウン市民センター 視聴覚室(2多目的室)
定員 各40名(多数の場合は抽選となります)

※第1回と第2回のプログラムは異なります。

目的地の送迎方法をスマートフォンで予約できる「ここ」
スマホ教室(交通おでかけアプリ活用講座)

日時 ①10月24日(月)10:00～11:00(申込済) ②11月17日(木)11:00～12:00(申込済) ③11月10日(日)10:00～11:00(申込済)

会場 フラワータウン市民センター①視聴覚室・②多目的室
定員 各40名(多数の場合は抽選となります)

持ち物 スマートフォン、クレジットカード^(*)、Eメールアドレス^(*)
(*)は、エリア内定額乗車券購入に必要となります。

【問合せ・申込先】
開催事務局:三田市交通まちづくり課 ☎ 079-555-6777 ☒ kotsu@city.sanda.lg.jp
申込用ロゴフォーム <https://logoform.jp/f/c1x0>

運行ルート・運行ダイヤ

運行日: 平日(月～金) 祝日をのぞく
運行時間: 9:30～16:15(下表参照)

便名	コリス発	フラワータウンセンター発	便名	フラワータウンセンター発	コリス発
1	9:30	10:00	2	10:15	10:45
3	11:00	11:30	4	11:45	12:15
5	13:30	14:00	6	14:15	14:45
7	15:00	15:30	8	15:45	16:15

※発着時間はおおよその目安となります。

停車所(発着地①～③)
停車所(②～⑧)

ハサマ悠々サービスご利用方法

- 利用者登録**
利用登録書に必要事項を記載して事前に登録してください。
受付場所: 狭間が丘コミュニティセンター
- 電話で予約**
*利用希望日の3時間前まで受付
受付日時: 平日(水曜日を除く) 9:00～12:00/13:00～15:30
☎ 079-558-7783(狭間が丘地域事業推進協議会)
①お名前 ②乗車便 ③乗車場所 ④乗車場所

ハサマ悠々サービスからのお願い

- ご乗車の際は近隣の停車所(①～⑧)までお越しください。(実証期間中は無料となります。)
- ハサマ悠々サービスの乗車定員は3名となります。安全のため、11月18日(金)まではサポートカーが同乗いたしますので、定員は2名となります。
- ハサマ悠々サービスは、時速19km以下で運行します。車でご通行の皆様にはご理解とご協力をよろしくお願いします。
- ハサマ悠々サービスは、一部区間で特別の許可を得て遊歩道を走行します。走行中は、前を横切ったり、追いかけたりしないでください。自転車、歩行者の皆様にはご理解とご協力をよろしくお願いします。
- 悪天候の際は運行を中止させていただきますのであらかじめご了承ください。

【問合せ】 開催事務局:三田市交通まちづくり課 ☎ 079-555-6777 ☒ kotsu@city.sanda.lg.jp
協力団体: 狭間が丘地域事業推進協議会 ☎ 079-558-7783

～R4年度 狭間が丘配布チラシ～

武庫が丘にお住まいの皆さま

“むこぐるぐる” がやってくる

グリーンスローモビリティが武庫が丘で走ります

期間中は誰でも何度でもご利用いただけます

この内容は試験運行段階のものです

【グリーンズローモビリティ(グリスロ)】は、時速20km未満で走る電気自動車です。環境にやさしく、お近くの移動に最適な交通手段として注目されています。武庫が丘地区では11月からセンター地区までのおでかけにご利用いただけるよう社会実験を行います。のんびりと友人とおしゃべりを楽しみながら、皆様のまちなかからフラワータウンセンター地区までお出かけしましょう。

運行期間 令和4年度 **11月10日 Thu - 12月23日 Fri**

運行日 平日(土・日・祝日は運行しません)

運行時間 9:30～16:00(予約制ではありません) ※運行時間は裏面参照

運行区間 お住まいの地区からフラワータウンセンター地区まで ※最寄りの乗り場からご乗車ください。運行ルート・乗り場は裏面参照

運賃 無料 ※社会実験期間中は無料となりますがアンケートにご協力ください

三田市モビリティサービス実証推進協議会事務局:三田市交通まちづくり課 ☎ 079-555-6777
協力団体: 武庫小校区まちづくり連絡協議会

～R4年度 武庫が丘配布チラシ～

むこぐるぐる のぐるぐるマップ

発着停留所
停車所

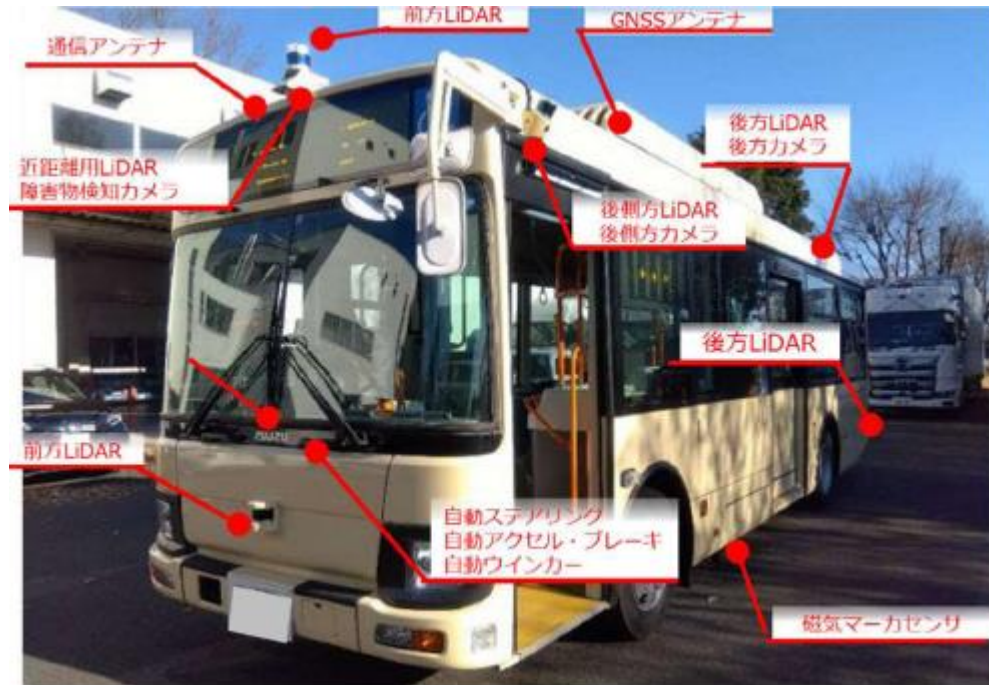
便	フラワータウン市民センター発	スーパーマーケット発
1	9:30	10:00
2	10:20	10:50
3	11:10	11:40
4	13:00	13:30
5	13:50	14:20
6	14:40	15:10
7	15:30	16:00

※発着時間はおおよその目安です

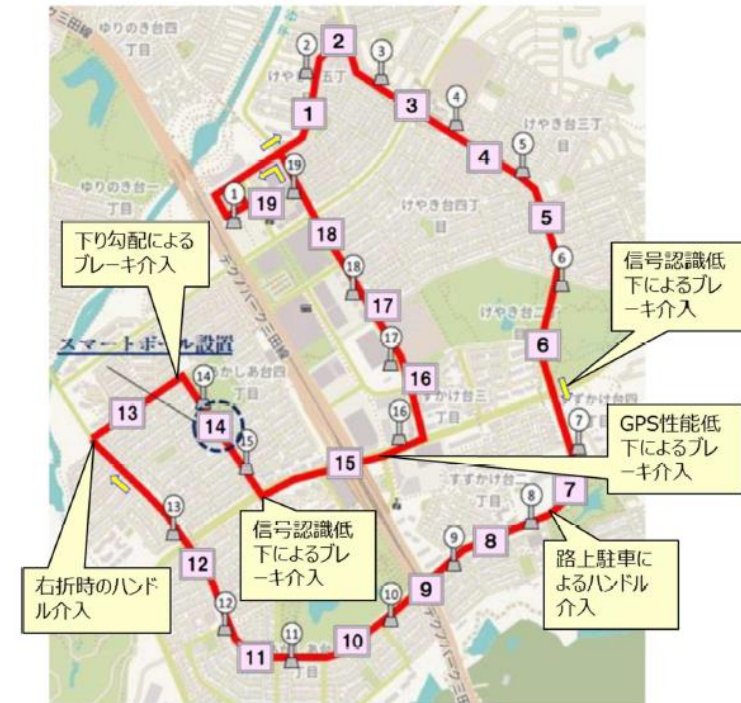
むこぐるぐるからのお願い

- ご乗車の際は近隣の停車所までお越しください。(実証期間中は無料となります。)
- むこぐるぐるは、どなたでもご利用いただけますが、12歳未満のお子様は乗車される場合は、必ず保護者が同乗してください。
- むこぐるぐるの乗車定員は3名となります。安全のため、11月18日(金)まではサポートカーが同乗いたしますので、定員は2名となります。
- 予約制ではありませんので、多くの方に体験いただけるよう譲り合ってください。
- むこぐるぐるは、時速20km未満で運行します。車でご通行の皆様にはご理解とご協力をよろしくお願いします。
- むこぐるぐるは、一部区間で特別の許可を得て遊歩道を走行します。走行中は、前を横切ったり、追いかけたりしないでください。自転車、歩行者の皆様にはご理解とご協力をよろしくお願いします。
- 悪天候の際は運行を中止させていただきますのであらかじめご了承ください。

- 事業の背景
 - 三田市ウディタウン地区は、今後高齢化の進展により昼間の移動ニーズは多様化していく
 - 一方で、市内全域を担う路線バス事業においては、運転手の担い手不足が深刻化。
 - 利用者ニーズに対応可能なサービスを確保しつつ、市内バスネットワークを維持するための新たな技術導入の必要性の高まり
- 事業の内容
 - 自動運転バスによる地区中心の商業施設エリアへアクセスしやすい系統による持続可能な域内循環ネットワーク構築



～R4中型自動運転バス実証実験の車体～



～R4実証実験の走行ルートと運転手の介入状況～

- ・ 損害保険会社と連携。テレマティクス自動車保険契約を通して自動車走行データを蓄積
- ・ データの統計加工を施した上で路面異常推定箇所を地図上に可視化
- ・ 三田市道路パトロールにて効果を検証
- ・ 連携企業（あいおいニッセイ同和損害保険）

あおいニッセイ同和損保は新サービスの検証
三田市は路面状況把握の効率化につながるか検証



～自動車走行データを活用した路面状況把握のイメージ図～



～タグの自動車への搭載イメージ～



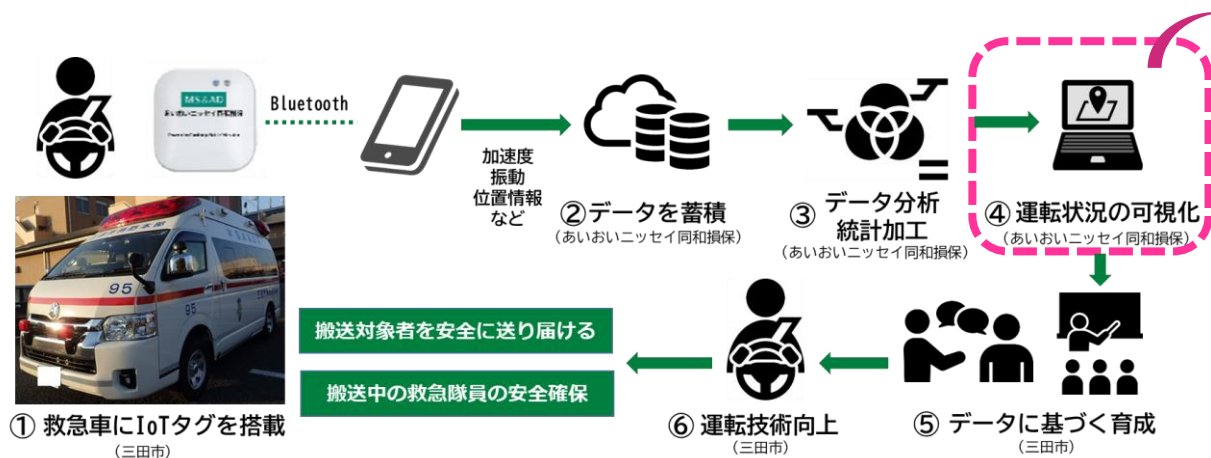
～データに基づく現地確認の様子～

概要

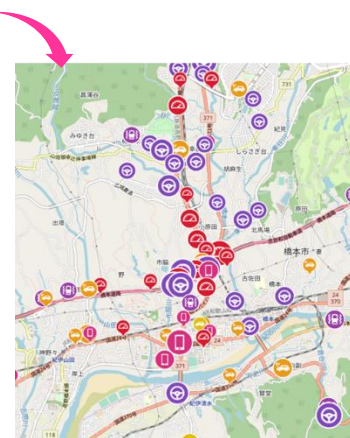
- IoTタグやGPS等を使い収集するテレマティクスデータ（自動車走行データ）を活用し、救急車などの緊急車両の安全運転向上に資する実証実験を、あいおいニッセイ同和損害保険株式会社と連携して実施

取り組み

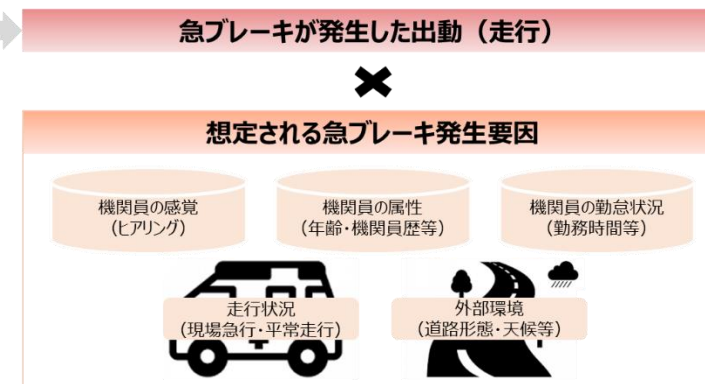
- 救急車にIoTタグを装着
- タブレット端末を介してテレマティクスデータを収集
- 一定の加速度で定義した「急減速」の検知データを分析
- 検知データをもとに救急隊員にヒアリングを実施
- 救急車の走行データが救急隊員の育成に活用できるか検証



-テレマティクスデータを活用した取り組みイメージ-



-検知データ可視化の例-



-ヒアリング以外の検証方法-

個別最適化された
安全運転
マネジメント

- スマートシティの基礎を固める（人・データの連携を推進、共通的な仕組みの採用）
 - 官民共創によるスマートシティの取り組みの推進
 - オープンデータの推進とデータ利活用人材の育成
 - スマートシティにおける基盤サービスの研究・導入
 - スマートシティ都市間連携の推進



- さんだ里山スマートシティロゴマークの市民公募
 - さんだ里山スマートシティのシンボルとして活用するための「さんだ里山スマートシティ・ロゴマーク」
 - 令和4年1月から2月にかけて**市民公募**を行い、応募作品の中から選定



さんだ里山スマートシティ
Sanda Satoyama Smartcity



さんだ里山スマートシティ
Sanda Satoyama Smartcity



Sanda Satoyama
Smartcity



Sanda Satoyama
Smartcity

- 神戸大学大学院システム情報学研究科の授業の一環で大学院生が三田の課題解決のためにアプリ開発
- 授業が終わった後もアプリを市民等に使用していただくように継続して開発（大学の研究費等を活用）
- 令和4年度は「さんだまち歩きアプリ」や「三田わくわくアプリ-こうみんすごろく-」「ゼロカーボンチャレンジアプリ」
- 令和5年6月末より「さんだゼロカーボンチャレンジアプリ」をサービス提供中
 - ゲーム感覚でゼロカーボンを学んでポイントをゲット
 - たまったポイントでプレゼントに応募（景品は市内の協賛企業からの提供など）



～さんだゼロカーボンチャレンジアプリの概要～



～さんだまち歩きアプリのイメージ～



～三田わくわくアプリ「こうみんすごろく」のイメージ～



～ゼロカーボンチャレンジアプリのイメージ～

事業の概要

- 令和4年度に市民参加プラットフォームとして「my groove さんだ」を開設し、実証実験を実施
- 市民等がオンライン上で、時間や場所の制限を受けず、「できる時に、できる方法で」様々な取り組みに参加することや、活動している人を応援することのできる仕組みを構築

実証実験から見たこと

- 各取り組みの内容やその進捗を分かりやすく整理してプラットフォームで示したことで、単純にHPで発信することに比べ関心度自体も高くなり、市から発信したい情報が幅広く閲覧された。
- 単純にHPやSNSを運営するだけでは得られない情報など、訪問者の興味関心の傾向も把握することができた。
- プラットフォーム上でより多くの市民等の方々などから意見提案を集めていくには、サイト訪問者に期待することを明示したり、募集した意見の活用方法を明示したりすることで、訪問者がサイト上でアクションするハードルを下げるのが大切

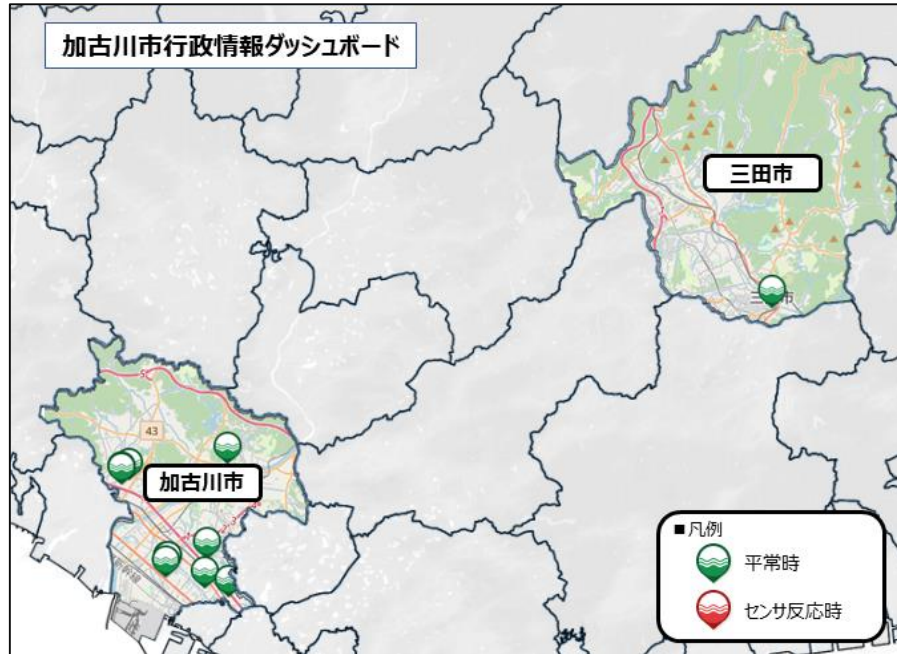


～市民参加プラットフォームの活用イメージ～



～令和5年3月13日庁内で勉強会を開催～

- 本市が設置した浸水センサから取得した浸水域を把握するためのデータを、加古川市が運用するデータ連携基盤を介し、加古川市の行政情報ダッシュボード（地図上で各種データを重ねて確認できる仕組み）に表示
- 浸水センサは令和4年度に1基試行で設置
- 令和5年5月以降に市内に設置個所を増設 → 国土交通省の令和5年度ワンコイン浸水センサ実証実験を活用
- 連携企業/団体（R4・R5：加古川市、世界経済フォーラム第四次産業革命日本センター、京セラコミュニケーションシステム）



～加古川市行政情報ダッシュボードに表示したイメージ～



～浸水センサの設置のイメージ～

**✓データ連携基盤は高価になりがちなので
自治体間で共有することが重要**

- デジタル時代に相応しい市役所になる（市役所のサービスや業務をデジタルで変える）
 - デジタルを活用した利便性の高い行政サービスの提供
 - 情報を分かりやすく届くように発信する体制の構築
 - 業務の見直しと働き方改革による事業継続性の向上
 - デジタル時代の職員の育成と登用



- 「デジタル時代に相応しい市役所になる」を掲げて、デジタル技術を使いながら、市役所のスマート化に取り組み中
- マイナンバーカードの活用を推進

<主な取り組み>

令和3年10月 集団健診WEB予約

令和3年11月 三田市LINE公式アカウントの開設

令和4年3月 三田市ホームページの更新

令和4年9月 ふるさと納税ワンストップ特例申請のオンライン手続きに対応

令和4年10月 オンライン手続き拡充（戸籍謄本・抄本や住民票など各種証明書に対応）

令和5年1月 本庁舎1階市民課でキャッシュレス手段を拡充（クレジットカード、電子マネーなど）

令和5年3月 フラワータウン・ウッディタウン市民センターでキャッシュレス手段を拡充
文書管理・電子決裁システムの導入

<今後>

令和5年度～ **電子契約サービスの導入**



三田市 LINE公式アカウント
登録すると便利です！



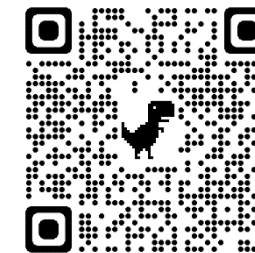
欲しい情報だけが届く
配信を希望する項目を事前に登録することで、欲しい情報が届きます

緊急情報の一斉
災害情報や避難指示など、緊急の情報をいち早く、利用者全員に一斉に配信します

3つのメニューから知りたい情報に簡単アクセス
LINEからホームページや入力フォームに直接アクセスできます



- 事業の概要
 - ChatGPT等の生成AIを業務で活用することを目指す
 - 活用場面の調査や利用ルールの方策などに取り組む研究チームを庁内に設置して**推進体制を確立**し、**庁内職員研修**の実施、**先進的に取り組む他の自治体との連携**、また**有識者からのアドバイス**を得ながら、国内外の動向を踏まえつつ、今秋を目途に導入のガイドラインの確立を目指し、本格的な導入に向けて取り組む
- 取り組み状況
 - 5月
 - ChatGPTの戦略的な活用に向けた取り組みを進める旨を公表
 - 活用場面の調査や利用ルールの方策等に取り組む研究チームとして「ChatGPT・AI活用検討ユニット」を設置
 - 6月
 - 庁内各課でChatGPTやAI活用を希望する職員を集めるため「庁内ChatGPT・AI活用コミュニティ」を立ち上げ
 - 市職員を対象にChatGPTについて知るための研修を開催
 - 兵庫県電子自治体推進協議会総会の「ChatGPT等生成AI意見交換会」において本市の取り組み状況を他市町に紹介
 - 7月
 - **三田市生成AIの利用ガイドライン(試行用)を策定**
 - 全庁的な試行利用の開始
 - 8月(予定)
 - 市職員を対象に実機を使ったハンズオン研修を開催
 - 10月以降(予定)
 - ガイドラインの改定(本格的な導入を目指す)



取り組み状況はポータルサイトで発信
ガイドライン(試行版)も公開中

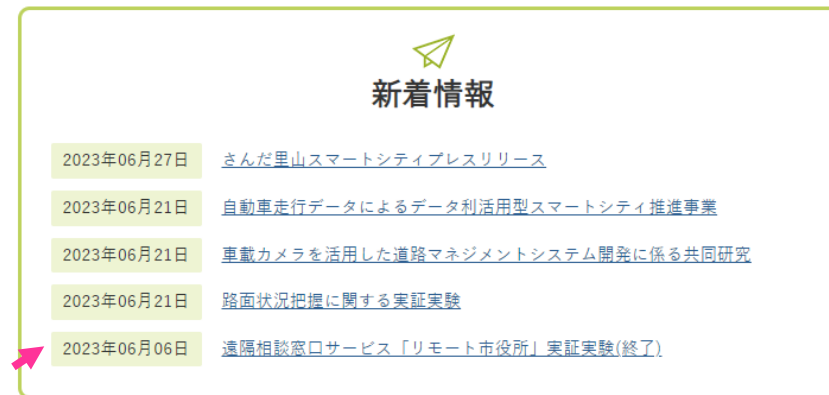


令和5年6月14日第1回ChatGPTセミナーの様子

- 三田市の取り組みを「さんだ里山スマートシティポータルサイト」で市内外に情報発信
- 今後も掲載コンテンツを順次拡大



The screenshot shows the main page of the Sanda Satoyama Smartcity portal. At the top is the logo and the title "さんだ里山スマートシティ Sanda Satoyama Smartcity". Below this are six navigation buttons: "さんだ里山スマートシティ構想", "官民共創プラットフォーム", "市民参加型スマートシティ", "さんだ里山スマートシティの取り組み", "さんだ里山スマートシティロゴマーク", and "スマートシティアドバイザー・連携協定". A central section titled "さんだ里山スマートシティポータルサイトへようこそ" contains introductory text about the city's smart city goals. Below that is a "新着情報ページのご案内" section with sub-sections for "プレスリリース" and "更新されたページ". A red dashed box highlights the "新着情報" (New Information) link in the "更新されたページ" section. To the right of the main content is a sidebar with a "ためまっぷさんだ" logo and a "my groove さんだ" logo, with the text "さんだの未来を共に創ろう" and "市民参加型プラットフォーム".



The screenshot shows the "新着情報" (New Information) page. It features a list of recent news items, each with a date and a link to the full article. A red dashed arrow points from the "新着情報" link in the main page screenshot to this page.

日付	記事タイトル
2023年06月27日	さんだ里山スマートシティプレスリリース
2023年06月21日	自動車走行データによるデータ活用型スマートシティ推進事業
2023年06月21日	車載カメラを活用した道路マネジメントシステム開発に係る共同研究
2023年06月21日	路面状況把握に関する実証実験
2023年06月06日	遠隔相談窓口サービス「リモート市役所」実証実験(終了)

～新着情報で直近の更新をお知らせ～

Access →



https://www.city.sanda.lg.jp/shisei_joho/1/index.html

～さんだ里山スマートシティポータルサイト～

• さんだ里山スマートシティ構想より

① 出来ることから始めよう

- スモールスタートで始めよう
- トライ&エラーで進めよう

② 利用する人のことを考えよう

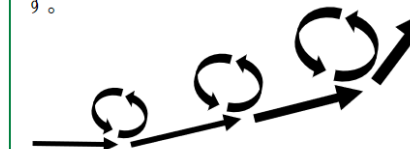
- デジタル活用ありきではなく市民等の利用者の視点で考えて最適化を
- サービスやシステムを利用する人（市民や市職員など）の視点で設計

③ 縦割りから共創へ

- 組織や分野を超えて取り組む（公民連携・官民共創）
- 他課と連携して取り組む（個別最適ではなく全体最適を）

-視点①- アジャイル型まちづくり

スモールスタートで始め、トライ&エラーを繰り返すことでサービス開発にチャレンジする手法を積極的に採用する、変化に強いまちづくりを推進します。



-視点②- サービスデザイン思考

施策・事業でサービスやシステムを提供する場合は、デジタル活用ありきではなく、市民等の利用者の視点で考えて最適化を目指します。



-視点③- 共創によるイノベーション

課題解決のために組織や分野等の垣根を超え、横連携を行う、共創のまちづくりを推進します。新しい視点で課題解決を進めることでイノベーションの創出につなげます。



～さんだ里山スマートシティ構想より抜粋～



共に創ろう

スマートシティ

